

平成 26 年度 第 3 回 桐間地区事業所等津波避難対策協議会会議録

日 時 平成 27 年 1 月 21 日（水）14：00～15：30
場 所 須崎市総合保健福祉センター2 階 会議室 1
出席者 別紙のとおり

1. 挨拶

市地震・防災課長より、昨年 11 月 5 日に実施した桐間地区避難訓練の検証結果及び避難シミュレーションの結果について、皆様にお示ししたいと思っている。

本日は、避難訓練の検証をするにあたり、訓練当日の避難誘導にあたっていただいた、須崎警察署、須崎消防署、須崎消防団の方に出席していただいている。

2. 議題

・桐間地区避難訓練の検証について

実施日：平成 26 年 11 月 5 日

対象者：小学生、中学生、保育園児、来客者等

参加者内訳：多ノ郷小学校（教員含む）400 名、朝ヶ丘中学校（教員含む）238 名、日ノ出保育園（職員、保護者、児童含む）140 名、地域住民（自主防災組織等）約 100 名、須崎警察署 15 名、須崎消防署 11 名、須崎消防団 11 名

学校関係者からは、普段、学校ではできない訓練ができたこともあり、前向きな意見をいただいている。

避難訓練の実施状況、評価・改善事項について、事業所及び参加機関、避難誘導機関からご意見をいただいている。【別紙会議資料参照】

・事業所

【評価】

今回の訓練を、各事業所でも実施していくとの意見も挙げられている。また、目的の避難場所までどのくらい離れているかの確認ができた等のご意見も頂いている。

その他、今回の避難経路となった、線路の地下道（エム・セテック方面）や液状化で通行不可になることも考えられるといったご意見も頂いている。

頂いたご意見の中で、多く見られたものが、津波到達時間までに店舗から避難場所にいけることが分かったというものでした。ただし、地震が起きた直後は、どのような状況になっているかわからないことから、発災直後の対応をどうするかが重要であるとのご意見も頂いている。

【改善事項】

今回の訓練の日程は、国の定めた『津波防災の日』に合わせて実施させていただいたが、事業所の形態によっては、6月や7月、10月等にも訓練を実施してほしいとのご意見も頂いている。

高台への道の整備については、城山トンネル方面へ向かう為、歩道から直接避難場所へ上がれるようにしてもらいたいとの意見を、以前からいただいている。こちらについては、今後も国土交通省に対し市・県から避難訓練での意見として要望していきたいと考えている。

今後、訓練を実施するに当たり、揺れが収まってから店舗の外に避難する訓練が重要になってくるのではないかと考えている。

・参加機関

【評価】

保育園については、保護者も一緒に参加したという事もあり、実りある訓練になったとのご意見をいただいている。

特に小学校低学年にとっては、避難の距離が長かったという事で、今後の訓練ではどう進めていくかが課題となる。ただし、地震はいつ、どこにいるときに起こるかわからないという事を踏まえて、どんなに距離があっても走って逃げることを、学校で話をして身に着けて頂きたい。

【改善事項】

学校からの意見として、小学校低学年に対して、実施時間を考慮していただきたいとの意見も挙げられている。

また、エム・セテックへの階段について、避難者の転倒（将棋倒し）による事故の発生が予想される為、中央にロープを張る等の工夫が必要ではないかとのご意見も頂いている。このことについては、桐間地区だけではなく、避難者の多くなる地区についても改善等が必要であると考えられる。今後、そういった箇所を改善できるような検討を、市のほうでもしていきたいと考えている。

今回いただいたご意見を基に、今後の訓練を進めるうえで内容等を工夫していきたい。

特に、桐間地区に限定すると、様々な地域の方が集まるという事もあり、的確な避難誘導が出来るような体制を作っていくことが重要ではないかと考えている。

・避難誘導機関

桐間地区は自動車の交通量も多いエリアの為、今回の訓練で避難誘導して頂いたことで、安心して訓練に参加できたとのことのご意見が多く寄せられた。今後も、訓練への参加及びご協力を頂ければと考えている。

今回の訓練で、避難誘導にご協力いただいた機関から、

須崎警察署

今回の、避難訓練に参加させて頂いて、避難誘導という面については、須崎警察署でも大規模な避難誘導を実施したことがなかったのも、非常に良い勉強になった。

その中で、車両による避難について気になった。車両による避難を実施する方は、必ず出てくると思われるので、それを一度検証してみるのもよいのではないかと。車両避難による渋滞や、乗り捨てられた車両による2次被害などを検証したものを住民に対して周知することで、車両避難の危険性を啓発することができるのではないかと。

また、発災直後に警察や消防は避難誘導を実施することが困難であり、最終的には、市民1人1人の意識の向上が重要になってくる。

須崎消防署

桐間地区にいる方が、どのように避難するのかはある程度のイメージがあったが、実際に避難していただいて、どのような状態になるのか一定見えたのではないかと思われる。

実際の災害において、時間や日が変わっても、今回よりも避難の状態が良くなることはないと考えていただきたい。

様々な意見が出てきた中で、今後に生かすには、訓練を重ねて様々な方法を探っておくことが大事ではないかと思う。今後の訓練では、曜日や時間帯を変えて誘導などの訓練を実施していただきたい。

須崎消防団

今回の訓練で、小学生や中学生が実際に歩いて、避難できる時間を確認できていたことが良かったと思う。

また、東日本大震災でも車両避難をされた方は、被害に遭われたという事を理解していただきたい。

消防団としても、団員が必ず避難誘導にいけるとは限らない為、各事業所で避難誘導できるよう訓練を実施していただきたい。

多ノ郷分団

今回の避難対象者は、小学生、中学生といった足腰の強い方が多かったが、実際の災害では、エム・セテックへの階段には、地元の住民（高齢者等）も集中すると考えられる。避難場所を分散することは、非常に困難と思われるので、今回のような訓練を継続していくことが重要と考えられる。

また、マルナカでサイレン吹鳴の後、ピアを經由してエム・セテックに車両で向かったが、徒歩の小学生が先に到着していたことから、徒歩避難の方が早く逃げられることが実証された。

事業所の皆様には、店内からのスムーズな避難が出来るよう、検証等をしていただければと思う。

- ・店舗内からの避難等について、各事業所の考えをお聞きしたい。

ダイナム

今回の訓練では、国道を利用しての避難を実施した。

避難者の中に高齢者等はおらず、従業員のみの参加で、特に問題等は起きなかった。

ただし、実際の避難となると、高齢の方が多いため避難階段を登れるかというところに不安を感じている。他の方の避難を妨げないよう避難階段を多くするか、高齢者向けの対策をする必要があると感じた。

セントラルディーポ

今回の訓練で、避難後に必要な物資を運ぶ訓練を実施した。従業員には、避難後までを考えた意識付けを行っている。

従業員を巻き込んで実施出来る訓練を、今後も継続していただきたい。

ベテルホーム

避難場所としては、城山方向などもあるが、独自に考えているものとしては、オリーブホーム（6階建て）の屋上スペースがあるので、そこに上っていくことを考えているが、できれば、高速道路に上られるようにしていただきたい。

ヤマダ電機

須崎市だけでなく、近隣の市町村から来られているお客様が多いため、字（あざ）等による表記ではなく、矢印のような目で見てわかる避難が必要と感じた。

ネクサス

避難訓練には、従業員が参加させてもらったが、思っていたよりも時間がかかったという印象を受けた。今回の訓練では、年配のお客様が多いことを考慮して、避難の際に走らないように気を付けた。（エム・セテックまで約16分）

今回避難に使用したルートでは、階段の幅や足場の状態があまり良くなかったことから、今後は別のルートも検討するよう考えている。

また、高速道路へ上れるようになれば、避難ルートの幅も広がるのではと感じた。

訓練の回数についても、頻度を増やしていただければ、参加する従業員も多くなると考えている。

マルナカ

小中学生や保護者などに店舗内から避難してもらえよう、店内でエリアを決め、従業員を配置した。今回は、小中学生は入ってこなかったが、次に訓練の機会があれば、実際に店内からの避難を検証することで、新たな問題点や改善点が出てくるのではないかと考えている。

お客様（特に年配の方）から、地震や津波に対する不安、避難誘導への質問などが上がっている。

ケースデンキ

当店では、お客様のほとんどが車で来店している。特に市外からのお客様は、避難の際に、車両の使用することが予想される。今後の避難訓練などで、徒歩による避難を啓発していきたいと考えている。

サークルK

今回の訓練では、避難場所までの時間が計れたことが良かったが、実際には、避難誘導や避難先の判断などを考えると、さらに 5 分程度必要ではないかと感じた。

また、城山トンネル方向への避難場所に、歩道から直接登れるようにしていただきたい。

従業員には、避難の際に、食料等を持って避難するように指導している。

前川種苗

今回の避難訓練には、参加できなかったが、訓練の回数を増やしていただければ、参加することも可能と考えている。

四国労働金庫

今回の訓練で、避難場所（エム・セテック）までの時間が計れたが、実際の地震・津波では、通れない道もあると考えられる。今後は、別ルートでの避難を想定した訓練を実施していく必要がある。

多ノ郷小学校

サイレンが鳴った後、避難開始のタイミングが分からず、教職員が避難を促した。今後、訓練を重ねることで、改善されると思われる。

また、本校も避難場所になっているが、食料等の物資の蓄えがなく、PTAからも非常食や水を備蓄しておくべきではないかとの意見も挙がっているので、予算措置などがあればお願いしたい。

朝ヶ丘中学校

学校としては、平日に地震が起きた際は、校外から出さないことを原則としている。今回の訓練で、休日に地震が起きた時の避難について、意識付けをすることができた。

また、JRでの訓練においては、企業が本気になって行う訓練の空気や、実際に列車から降りる訓練など、生徒に対して大きな意義があったと感じている。今後も、こういった訓練を義務教育の中で出来るような形を作っていただきたい。

今回は、たまたま防災学習の時期と重なっており、生徒に対し非常に印象に残るものとなった。今後、訓練の日程が決まれば、訓練に合わせて計画的に防災学習を取り入れていきたいと考えている。

事務局まとめ

須崎市では、毎年12月21日（昭和南海地震の日）に近い日曜日の午前中に避難訓練を実施している。これはあくまで、自宅から避難場所へ逃げる訓練という位置づけになっている。これとは別に、桐間地区に特化した避難訓練を平成27年度も引き続き実施していきたいと考えている。日程については、出来るだけ早めに調整し、4月・5月あたりで決めていければ、訓練の内容についても充実したものが出来ると思う。特に、年配者や市外の方の避難、車両避難の検証などについて、平成27年度4月以降の会で内容を決めていくことが理想と考えている。今回の訓練では、学校の生徒にも参加して頂いたが、重要となるのは従業員さんの避難誘導とお客様の避難となるので、その2つをメインに訓練内容を提案させていただきたい。

避難場所までの経路整備については、市単体で出来るものでもありませんので、関係機関に働きかけをしていきたい。

JRの訓練については、高知県の沿岸部や、徳島県の沿岸部で毎年訓練を実施している。東日本大震災以降は、駅が沿岸部に近いこともあり、須崎市で訓練を実施して頂いている。JRさんには、学校からも訓練について強い要望があったことを伝えると同時に、桐間地区から北に線路を越えて（多ノ郷駅の歩道橋、ツルハドラック北の踏切しか通れる箇所がない）避難できるように要望したい。

避難場所となっている、多ノ郷小学校、朝ヶ丘中学校の物資について、市教育委員会で出来る備蓄も限られているため、PTAなどの協力を頂ければありがたい。事業所から食料品を持って逃げるといった意見も挙がっていたが、その方法はリスクが伴うため、今の段階では、非常用持ち出し袋を事前に準備して頂き、必要最低限のものを持って避難して頂きたいとまでしか返答することができない。

店内からの避難については、様々な状況を想定しながら、実施して頂くことが大事であると考えている。以前ディーボさんから提案のありましたシェイクアウト訓練など、個別で行う訓練と全体で行う訓練について、交通整理しながら、ご協議いただきたいと考えている。

須崎消防署

訓練の日程と時期について、訓練は年に1回という決まりはないので、回数を増やし、参加できる機関にはどんどん入っていただければよいと思う。

地震・防災課長

行政として、ハード面の整備をさせて頂いているが、避難路や階段の手すりなどを設置している。今回、高齢者向けにロープの設置などの意見が出ていたが、今後も繰り返し、避難路を利用して頂き、整備における課題や要望を上げて頂ければと思っている。

事務局

高速道路の非常階段について、道路管理者と協議を進めていますが、法律上の規制があり厳しい状況であるが、訓練を進める中で、最終的に命を守るため

の階段として、訓練等で使用できるように要望を挙げていきたいと考えている。

- ・ 桐間商業地区津波避難シミュレーションについて

別紙資料及び須崎市ホームページ動画参照

- ・ 全体を通しての質疑応答

須崎警察署

災害時の避難誘導・救助について、誤解のないよう補足させていただくと、災害時の救助に向かうことができないといっているのでは無く、全力で救助活動を進める中で、活動できる職員の数に限界があることをご理解いただきたい。

須崎警察署では、職員が50名勤務しており、交代の関係から夜間は9名体制になっている。さらに、署内の管理に数名割かれることから、実際に現場で活動できる職員はさらに少なくなる。結論として、時間帯によっては取れる対応に限界がある。

また、車両の避難についても、定説として徒歩での避難が挙げられていることから、警察としても、車両による避難は推奨できないという事をご了承いただきたい。

3. その他

- ・ 今後の協議会について

事務局

平成27年度の訓練について、具体的な協議を進めて行くという事を含めて、皆様にご案内させていただきたい。

今回、須崎警察署に入っていただき、避難シミュレーションも見ていただいた結果、避難誘導の有効性が示されたと思う。それらを踏まえて、検証を進めながら、個々の事業所でどのような避難方法が効果的なのか、ご協議頂きたいと考えている。

日程については、学校・関係機関も含めて、4月以降に改めてご案内させていただきたいと考えている。

地震・防災課長

長時間にわたって協議会に参加していただき、ありがとうございました。引き続き、11月5日のような訓練等を実施していきたいと考えていますので、ご協力よろしく願いいたします。